

H30予算額：565,787千円（一）459,936千円
 （H29当初：563,706千円（一）465,077千円）

事業概要

放課後等に、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の多くの方々の参画を得て、様々な体験・交流活動の機会を提供するとともに、学習習慣の定着や学ぶ意欲の向上につながる「放課後学びの場」として活用し、子どもたちの学びを支援する。

期待される効果

- ◆ 放課後等に子どもたちが安全・安心な環境で、さまざまな活動に取り組むことができる。
- ◆ 「放課後学びの場」において、子どもたちが学ぶ力を身に付けることができる。
- ◆ 学校と地域が連携し、より安全で健やかに、地域で子どもを育てる風土ができる。

現状・課題

- ◆ 全小学校区の約94%に放課後子ども教室又は放課後児童クラブを設置（H29）
- ◆ 多様な体験・交流・学習活動が充実
- ◆ 市町村や子ども教室等によって、活動内容の充実度に差がある
- ◆ 過疎化や高齢化が進む中、活動を支援する地域人材の育成・確保を図る必要がある

事業目標

- ◆ 放課後の安全・安心な居場所が確保される
 【目標（H31まで）】 ・放課後子ども教室及び放課後児童クラブの設置校率 95%以上
- ◆ 「放課後学びの場」において、子どもたちが学ぶ力を身につけることができる
 【目標（H31まで）】 ・学習支援の実施 95%以上
- ◆ 学校と地域が連携し、より安全で健やかに地域で子どもを育てる風土ができる
 【目標（H31まで）】 ・避難訓練の実施 100% ・防災マニュアルの作成 100%

実施内容

放課後子ども総合プラン

～安全・安心な居場所づくり～

H30 児童クラブ 175カ所、子ども教室 148カ所で実施予定
 （H29 児童クラブ 168カ所、子ども教室 147カ所で実施）

放課後児童クラブ

- ★保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校に就学している児童が対象
- ★専任の支援員等による見守り

- 生活の場
- 遊びの場
- 学びの場

放課後児童支援員等

放課後子ども教室

- ★地域の全ての子どもが対象
- ★地域の多くの方々による見守り

- 体験活動
- 交流活動
- 学びの場

教育活動推進員
 教育活動サポーター

市町村等（実施主体）



地域コーディネーター



学校と地域をつなぐ調整役

補助及び支援

高知県

放課後子ども総合プラン推進事業（補助）

- ◇ 放課後児童クラブ推進事業（県1/3） 313,598千円
- ◇ 放課後児童クラブ施設整備助成事業（県1/3・1/6） 7→ 8カ所 44,938千円
- ◇ 放課後子ども教室推進事業（国1/3、県1/3） 156,450千円
- ◇ 放課後学びの場充実事業 27,603千円
 - ① 学習支援者謝金（県3/5）
 - ② 発達障害児等支援（県1/2）
 - ③ 防災対策経費（県1/2）
 - ④ 教材等経費（県1/2）
 - ⑤ 食育学習経費（県1/2）※放課後子ども教室のみ
- ◇ 放課後子ども総合プラン利用促進事業（県1/2） 6,619千円
 保護者利用料を市町村等が減免した場合の助成

人材育成研修等

- ◇ 放課後児童支援員認定資格研修の実施（年1回・4日間）
- ◇ 子育て支援員研修（放課後児童コース）の実施（年1回・2日間）
- ◇ 放課後児童クラブ・放課後子ども教室研修（安全・防災、子どもの育ち、障害児受入、児童生徒理解研修等）

人材発掘・登録・マッチング

- ① 人材紹介、マッチング事業
- ② 人材育成支援事業
- ③ 学校・地域応援事業

「学び場人材バンク」の設置

出前講座の実施等

参画

地域住民

保護者、地域のスポーツ・文化団体、学生、退職者、様々な資格・経験・技能を持つ人 等



委託